

住宅改修が必要な理由書

P1

〈基本情報〉

利用者	被保険者番号		年齢	歳	生年月日	明治 大正 昭和	年	月	日	性別	□男 □女
	被保険者氏名		要介護認定 (該当に○)	要支援		要介護					
				1 ・ 2		経過的 ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5					
	住所										

作成者	現地確認日	令和	年	月	日	作成日	令和	年	月	日
	所属事業所									
	資格 (作成者が介護支援 専門員でないとき)									
	氏名									
	連絡先									

保険者	確認日	令和	年	月	日	評価欄	
	氏名						

〈総合的状況〉

利用者の身体状況		福祉用具の利用状況と		
		住宅改修後の想定	改修前	改修後
介護状況		●車いす	□	□
		●特殊寝台	□	□
		●床ずれ防止用具	□	□
		●体位変換器	□	□
		●手すり	□	□
		●スロープ	□	□
		●歩行器	□	□
		●歩行補助つえ	□	□
住宅改修により、 利用者等は日常生活を どう変えたいか		●認知症老人徘徊感知機器	□	□
		●移動用リフト	□	□
		●腰掛便座	□	□
		●特殊尿器	□	□
		●入浴補助用具	□	□
		●簡易浴槽	□	□
		●その他	□	□
		・	□	□
・	□	□		

住 宅 改 修 が 必 要 な 理 由 書

〈P1の「総合的状況」を踏まえて、①改善をしようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的と改修の方針④改修項目を具体的に記入してください。〉

活動	①改善をしようとしている生活動作 →	② ①の具体的な困難な状況(…なので…で困っている) →	③改修目的・期待効果をチェックした上で、 改修の方針(…することで…が改善できる)を記入してください →	④改修項目(改修箇所)
排泄	☐ トイレまでの移動 ☐ トイレ出入口の出入 (扉の開閉を含む) ☐ 便器からの立ち座り(移乗を含む) ☐ 衣服の着脱 ☐ 排泄時の姿勢保持 ☐ 後始末 ☐ その他()		☐ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒等の防止、安全の確保 ☐ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ その他()	☐ 手すりの取付け () () ☐ 段差の解消 () ()
入浴	☐ 浴槽までの移動 ☐ 衣服の着脱 ☐ 浴槽出入口の出入 (扉の開閉を含む) ☐ 浴槽内での移動(立ち座りを含む) ☐ 洗い場での姿勢保持 (洗体・洗髪を含む) ☐ 浴槽の出入(立ち座りを含む) ☐ 浴槽内での姿勢保持 ☐ その他()		☐ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒等の防止、安全の確保 ☐ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ その他()	() () ☐ 引き戸等への扉の取替え () ()
外出	☐ 出入口までの屋内移動 ☐ 上がりかまちの昇降 ☐ 車いす等、装具の着脱 ☐ 履物の着脱 ☐ 出入口の出入 (扉の開閉を含む) ☐ 出入口から敷地外までの屋外移動 ☐ その他()		☐ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒等の防止、安全の確保 ☐ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ その他()	☐ 便器の取替え () () ☐ 滑り防止等のための床材の変更 () ()
その他の活動			☐ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒等の防止、安全の確保 ☐ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ その他()	☐ その他 () () () 、

